

# コマツ コミュニケーション レポート

## KOMATSU COMMUNICATION REPORT

激動する時代、メーカーはどのようにこの変化に挑み、取り組んでいるのか。コマツの製品をお使いのユーザーの方々をレポートしてご紹介いたします。今回は様々なコマツのプレス機を活用されて顧客のニーズに的確に対応されている、大阪府寝屋川市の株式会社原田重工作所様にお話を伺いました。

### Vol. 29 各種金属プレス加工、 精密プレス金型設計・製造メーカー 株式会社 原田重工作所

〒572-0036 大阪府寝屋川市池田西町28-34 TEL.072-826-2188 FAX.072-826-2720

設立 1948(昭和23)年4月 代表取締役 原田 重継 資本金 1,000万円 社員総数 46名

### トップに聞く。

『多様なニーズにお応えすべく、  
50年の経験と技術に加え、  
新技術にも挑戦して行きます。』



代表取締役 原田 重継 氏

● 現在メーカーから高い信頼を得られているとお聞きします。創業から今日に至るまでの経緯についてお聞かせください。

私の父が昭和23年に23歳で門真市にてプレス加工業として設立しました。知人から入手したエキセンプレスでスタートし、自分で金型も造り、最初は傘のキャップを母とともに製造していたそうです。

その後、昭和32年に株式会社となり、工場が手狭になったため、昭和39年に寝屋川市に移転し現在に至ります。

私が社長になったのが35歳の時です。大学を卒業して知り合いのプレス会社に入社し、そこで現場を体験させていただきました。

父が病気がちだったもので、家に帰ってすぐに銀行との取引から社長同士のつきあいなどを任されました。この経験は社長になった際にとっても役立ち、父には大変感謝しています。

製品は大手家電メーカーの中小物のプレス部品がメインで、順送加工の量産品を中心に、単発プレスの方も金型のQDC化により小ロット品にも迅速に対応しています。

● 品質スローガンとして『心 - 心をこめた品質作り』を掲げられていますが。

父が良く話していたのですが、自分はプレスの音を聞いて状態が分かるというんです。それだけ仕事に気合いが入っていたということでしょうね。

大変難しいことですが、我々の仕事はあくまでも100%良品が要求されます。それには金型で品質を上げる事も重要ですが、最終的には作業者がいかにその製品に心を込めているかが大切であると思っています。

また品質とは製品だけではなく、納期や応対にも当てはまります。電話ひとつでもつねに感謝の気持ちを込めた対応を行うことや、納期もただ間に合えばよいというのではなく、その間のきめ細かな連絡や対応も非常に大切であるということです。

この品質スローガンには、注文をいただいた時から納品するまで、すべてに心を込めて、自分の造った製品は自信を持って出せるようなモノづくりをしましょう、という父の代からの願いが込められています。



進化はここから生まれる。

## 現場を捉える。

納期の厳守と高い品質をつねに心がけたモノづくり。年々厳しくなる顧客の要求に的確に応えていくために、一人ひとりが高い意識を持ち仕事に取り組んでいる。『自立』をスローガンとし、新たな挑戦も積極的に推進している。



- 創業時から金型の設計・製造を自社でされているとお聞きますが。

創業時からの父のプレスに対する考えが、金型も一緒にやらないと技術が蓄積されないということでしたので、基本的には自社で設計・製造を行うようにしています。

現在は3次元CADで設計を行っています。設計者にはいつも、量産しても不良品でない、スムーズに流れるものを造ってくれとお願いしています。

試作でよしとするのではなく、プレスを行う者の気持ちになって、量産するところまで充分に考えて設計したかという、ここにもやはり『心をこめた品質作り』が大切になってきます。

金型も自社製造の場合ですと徹底的に直せますから、その点に対応が早いですね。

最近ではタップも一緒に、金型で順送加工する製品も多くなっています。製品化まで、ある程度のトライができるのも、金型を内製化しているからです。金型からプレスまでの一貫生産体制も我が社の強みのひとつです。

- 生産性向上や社員教育など、現場で取り組まれている事は何でしょうか。

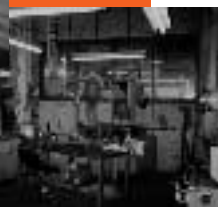
ちょうど今、我が社はベテラン社員と若い社員がいるのですが、年配の方は基本的に、どうしてもプレスは大量生産の



●3次元CADによる  
金型設計



●金型工場



機械であるという考え方を持っていると思います。

もはや多品種少量の時代ですから、そのような固定概念は払拭して、若い世代への引継ぎを上手にしなければなりません。

そこで、現在ベテランの社員が若い社員に技術を教えるようにしています。

昔のように『見て覚える』といった事ありませんし、我が社の場合は割とスムーズに行うことができているようです。

また多品種少量生産においては、単発用の小型プレスのQDC化を20数年前からすでに取り組んでいたという経緯がありますので、単発プレスに関しては金型の交換をシングル段取りで、数分で行うことができます。

そのノウハウを活かし、順送加工でのQDC化も進めていますが、外段取りなどがあり、どれだけ時間を短縮できるのか今後も取り組んでいきます。



●今後の活躍が期待されるコマツE2W200

●創業当時使用していた、  
記念のエキセンプレス。

●今回E2W200をご導入された経緯と、ご使用された感想をお聞かせください。

当初C型ダブルプレスを考えていたのですが、どうせ入れるならば性能の良いものと思い、何社か検討したところ、E2Wがコストと精度の両方で我々の要求にぴったりだったもので、将来的なことも考えて多少無理をして導入を決めました。

取引先からも随分いい機械をいれましたね、と冷やかされています。

稼動して約3か月になりますが、とても調子がいいです。

先日も、従来ですと金型を換えると量産するうちに精度に狂いが生じていた製品が、E2Wで行うようになってから最後まで安定した生産ができるようになりました。音も静かになったようですし、現在フル稼動中です。

今後ともコマツの機械には大変期待しています。サーボプレスなどはとても興味がありますね。

●海外進出や、海外の製造業との競争について、御社はどうお考えですか。

今のところ海外へ進出することは考えていません。現在の規模で、しっかりとした経営基盤を持つ会社にするのが、今の時代には合っていると思っています。

また、特に最近懸念されている海外との競争も、現在の日本の厳しい納期・品

質を考えると、逆に海外で対応することは非常に難しいこともあると思います。

近年ますます納期が短くなってきており、例えば函面ができて1.2週間で納めてください、といった注文が増えています。

海外ではどんなにメールなどが発達していてもロスタイムが1日2日は出るでしょう。

今はその1日2日のロスが命取りですから、まだ国内での製造の方が有利な面もあると思っています。

あとは約束を厳守することや、安心してまかせられる企業であることなど、当たり前のことですが、まだまだ海外の製造業が真似できない、日本のモノづくりの優れているところがたくさんあると思います。



●様々な活用されているコマツのプレス機

各種金属プレス加工、  
精密プレス金型設計・製造メーカー

株式会社 原田重工作所

●今後の展望などについてお聞かせ下さい。

今後はもっと若い発想で、日本の国の中で生き残っていくんだという強い意識を持ち、仕事に取り組んでいかなければならないと思っています。

つねに新しいことにチャレンジしていくことも大切です。

他社には絶対にできないことを自社の売りにするという事は、なかなか難しいことですが、やはり応対やお客様への気遣いなどを含めた総合力をもって、我が社を愛してくださる会社を一社でも多く増やしていくことが、生き残る道であると考えています。

また、本年度のスローガンに『自立』を掲げています。これは大きな意味では国からの自立、会社からの自立。自分ひとりで生きていける力を身に付けた社員が集まれば、これ程強い会社はないと思います。

そうすれば会社も自立し、どんな環境下でも生きていけるでしょう。

社員には、自分が頑張らなくては会社が成り立たないというぐらいの気持ちを全員が持ってくれることを望んでいます。

もちろん社長の私自身もですが、創業者はカリスマに成り得るかもしれませんが、私にはそういう意識はなく、これからもみんなと一緒に油にまみれて頑張っていこうと思っています。



●本年度のスローガン。

KTS-Net

コマツとお客様を結ぶ  
ネットコミュニケーション

KTS-Netとは、サーボプレスを活用して革新的なプレス加工を追求されているユーザーの方々の集まりです。皆様の情報受発信の場として、是非ご利用ください。

また、今後もこの誌面でKTS-Netのお客様をご紹介させていただきます。

ご入会をご希望の方は、是非弊社のサイトをお訪問下さい。

製品紹介



■主要仕様

機種	E2W110		E2W160		E2W200		E2W250		E2W300			
	HVS	SVS	HVS	SVS	HVS	SVS	HVS	SVS	HVS	SVS		
加圧能力	kN(ton)		1100(110)		1600(160)		2000(200)		2500(250)		3000(300)	
ストローク長さ	mm		110 180		130 200		150 250		170 300		170 350	
ストローク数	mm		50~100 35~70		45~85 30~60		35~70 30~50		25~55 20~40		20~40 15~30	
ダイハイト	mm/s		400		460		500		550		600	
スライド調節量	mm/s		100		100		120		120		200	
スライド寸法 (左右×前後)	mm		1400×520		1600×580		1850×650		2100×700		2100×900	
ボルス夕寸法 (左右×前後)	mm		1660×700		1850×760		2150×850		2400×950		2400×1200	
許容上型重量	mm		1200		1500		2000		2000		2000	
主電動機出力	kW		11×4		15×4		22×4		30×4		37×4	
空気圧力			0.49 (5)		0.49 (5)		0.49 (5)		0.49 (5)		0.49 (5)	

お問い合わせは

コマツ産機株式会社 鍛圧KBU 企画グループ

〒140-0013 東京都品川区南大井 6-3-7 アーバンネット南大井ビル

TEL. 03-5561-2692 FAX.03-5561-2877

インターネットアドレス <http://www.komatsusanki.co.jp/kts/>